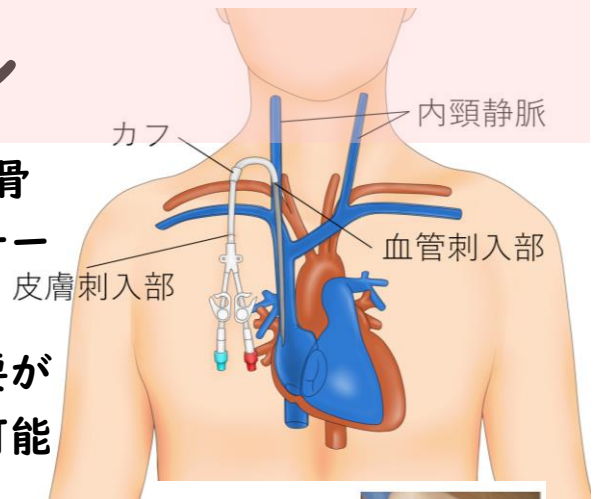


安心・安全な治療のために

中心静脈カテーテル

中心静脈カテーテル（CVC）は、主には右鎖骨下から経静脈的にカテーテルを挿入し、カテーテル先端を中心静脈内に留置します。

点滴治療のために血管を何度も穿刺する必要がありません。複数の薬剤を投与することが可能になります。



中心静脈カテーテル（CVC）の適応

- ①経口、経腸栄養による栄養サポートが困難である
- ②末梢血管ルートが確保できない
- ③高カロリー輸液での治療が必要
- ④末梢血管では投与できない薬剤治療を行う
- ⑤中心静脈圧の測定が必要な場合（ショック状態・心不全など）



カテーテル挿入部の固定にはテガダームCHGドレッシングを貼付します

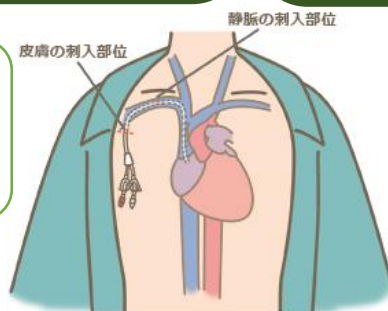
❖CVC挿入時の合併症について

- ①気胸：穿刺時に誤って肺を穿刺
- ②血腫：出血傾向が強い場合に形成しやすい
- ③カテーテル位置異常：カテーテル先端の位置により様々な症状が発症する可能性がある

❖CVC挿入者の管理上の注意

- ①感染症：穿刺部の発赤や化膿、発熱、敗血症
- ②カテーテル熱：カテーテル挿入に関連した発熱
- ③カテーテル自己（事故）抜去：認知症患者や高齢者は誤って抜いてしまう、切ってしまう

※CVC挿入後は前胸頸部横からカテーテルを出します。
前開きの衣類を準備して下さい



❖CVC留置術の実際

- ①血管撮影室で留置術を行います
- ②穿刺部に局所麻酔をします
- ③透視で確認しながらガイドワイヤーを挿入してカテーテルを留置します
- ④カテーテルを固定して終了

当院では、CVCの留置他、様々なご相談を受け賜っております。お気軽にご連絡下さい。

医療法人 倚山会



田岡病院

◇問い合わせ窓口

〒770-0941 徳島県徳島市万代町4丁目2番地2

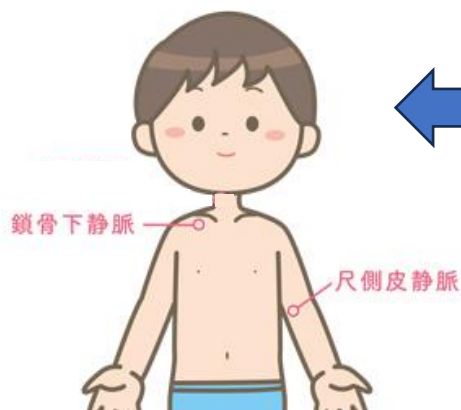
電話：088-622-7788 FAX：088-655-3077

患者支援センター：tel 088-612-8727

fax 088-612-8630

中心静脈ルート（CVカテーテル・CVポート）

造設を受けられる患者さまへのお願い



中心静脈は胸の前側の血管です。

← 図の血管いずれかをルートとして針を刺します。

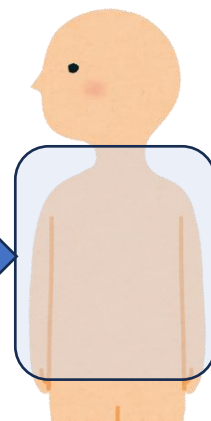


お願いしたい事

- ❖ 脱ぎ着しやすい服装でお越しください
- ❖ 上着やシャツは前開きにして下さい
- ❖ 貼り薬（心臓、気管支喘息、湿布類など）は前胸部以外に貼って来て下さい



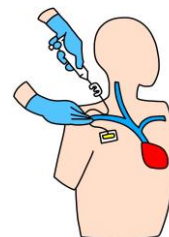
この部分への貼付はやめて下さい



- ❖ CVルート造設後は3日～7日間入浴ができません。
造設日までに入浴を済ませて来て下さい
（※清拭をしている方も同様です）

造設術の手順（所要時間：60分程度）

- ①手術前に手術衣に着替えてもらいます。着替えやすい衣類や肌着を着用して来て下さい
- ②手術室に入ります
- ③局所麻酔をします
- ④中心静脈を穿刺して、中心静脈ルートにカテーテルを挿入します
- ⑤カテーテルを固定します
- ⑥中心静脈ルート造設完了です



☎ 不明な点や不安な事があれば下記の田岡病院患者支援センターまでお問合せ下さい

医療法人 倚山会



田岡病院

◇問い合わせ窓口

〒770-0941 徳島県徳島市万代町4丁目2番地2

電話：088-622-7788 FAX：088-655-3077

患者支援センター：tel 088-612-8727

fax 088-612-8630

【CVC】申込書 兼チェックリスト

病院/施設名

申込者 (職種)

電話番号 フリガナ

FAX番号 患者氏名 様

PICC・CVC・ポート留置歴	無 ・ 有 (部位：)
CVC留置希望部位	右 ・ 左
ペースメーカー	無 ・ 有
透析シャント	無 ・ 有 (部位：)
高血圧	無 ・ 有
糖尿病	無 ・ 有
緑内障	無 ・ 有
抗凝固薬	無 ・ 有 ()
感染症	無 ・ 有 ()
アレルギー	無 ・ 有 ()
貼付薬の使用	無 ・ 有 → 当日は前胸部以外に貼って下さい
CVC留置希望部位	右 ・ 左 胸 ・ 腕
意思疎通	良 ・ 不良
移動	自立 ・ 要介助
認知症	無 ・ 有
酸素	無 ・ 有 → ネーザル・マスク () L
点滴	無 ・ 有
希望日 <small>基本的には木・金でお願いしています 急ぎの場合は、要相談可</small>	
来院方法	自家用車 ・ 施設車 ・ その他 ()
付き添い	無 ・ 有 → (続柄：)
保険会社の診断書	必要 ・ 不要
<備考>	

※ご予約は、申込書（本用紙）と紹介状をFAXして下さい。折り返し、担当よりお電話致します。
 ※貴院入院中の方についても、田岡病院で保険証の提示や会計が必要である旨を本人、ご家族様へお伝え下さい。